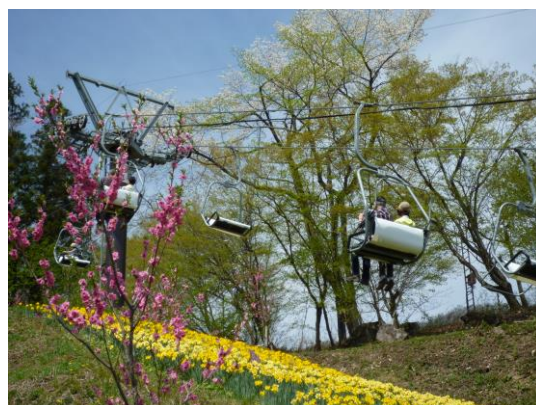


群馬スノーアライアンス株式会社

安全報告書（2015年）



吾妻耶山第1クワッドリフト
吾妻耶山第2ペアリフト（冬・春）
吾妻耶山第3クワッドリフト
吾妻耶山第4ペアリフト

ノルン水上スキー場
ノルンみなかみフラワーガーデン

利用者の皆様へ

日頃より、弊社の索道事業に対して、ご利用およびご理解頂きまして、誠にありがとうございます。

弊社は、【お客様の安全確保】を第一に、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底、人材の訓練など、安全輸送および事故防止に最大限努めさせていただいております。

今年度も、ご来場していただきましたお客様に、安心して弊社施設を楽しんでご利用いただけるよう、安全基本方針に従い、全社一丸となって輸送の安全確保に努める所存でございます。

本報告書は「鉄道事業法第19条の4」等に基づき、輸送の安全確保の取り組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、お客様に広くご理解を頂くために公表するものです。皆さまからの声を更なる輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

1. 基本方針

(1) 基本方針

当社の起業行動指針の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底してまいります。

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
ノルン水上スキー場全従業員で安全を守ります。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
法律や約束(鉄道の関係法令など)を守って仕事をします。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

索道運転事故件数ゼロを目標とします。

引き続き全社員一致協力のもと、設備不具合事故、人身傷害事故数ゼロに向けて輸送の安全確保、ヒヤリ・ハットの収集に取り組む所存です。

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成26年度、当社索道施設において索道技術管理員による1件の索道人身傷害事故の発生が有り、以下の通り再発防止対策を実施致しました。

- ① 折返設備内通路の凍結箇所へ滑り止めマットを設置した。
- ② 押送装置回転部へ保護カバーを設置した。
- ③ 係員への教育
 - 危険箇所（凍結・段差・回転部分）の周知及び注意確認
 - 除雪その他作業の実施は営業前・後を基本とし、営業時間中に行う場合は運転を停止させてから行うよう周知し、作業開始前には運転停止の確認を徹底させた

(2) 災害（地震及び暴風雨、豪雨など）

特にありません。

(3) インシデント(事故の兆候)

平成26年度の当社索道運転でのインシデント発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

索道人身傷害事故発生について、法令に則り事故報告等を行いました。

再発防止策を策定し、その後の事故・インシデントの発生を抑止すべく周知徹底致しました。

(5) その他の状況

強風による一時減速等の安全確保運転を適宜実施致しました。（風速15m/s以上）

3. 安全輸送のための取り組み

(1) 人材教育(各種索道研修会の参加)

安全輸送の確保を目的とする取組として、索道メーカー・索道関係機関主催による外部研修及び、社内教育訓練の参加・実施を行っております。

1. 関東鋼索交通協会主催

平成 26年度索道技術管理員等講習会（2日間） 1名

2. 日本ケーブル株式会社テクニカルセミナー

電気中級 2名

油圧・電気 1名

3. 国土交通省 関東運輸局主催

平成26年度索道技術管理者研修会（2日間） 3名

4. 国土交通省 関東運輸局主催

安全マネジメントセミナー（3講座）へ参加 1名

5. 社内研修会の実施

冬期索道スタッフ全体研修会の実施 平成26年12月15日、16日

日本ケーブル株式会社新潟サービスセンター 所長を迎え索道技術管理者、索道技術管理員、冬期索道スタッフ研修会を実施しました。

※その他救助訓練およびミーティング資料・保安情報にて安全に関する教育を逐次実施しました。

(2) 緊急時対応訓練

当社は、冬期営業前に全索道、パトロール、スクールスタッフが参加し、緊急時を想定した、索道の救助訓練を実施しております。

① 平成26年12月15日(月) 9:00～12:00 クワッドリフト救助訓練





② 平成26年12月16日(火) 13:00～16:30 クワッドリフト救助訓練



※ナイター時停電への取り組みとして、非常用発電装置、予備原動装置(非常用リフト運転装置)取扱い訓練を実施致しました。

(3) 安全のための投資と支出

- 平成26年度は安全の維持、向上のため、下記の表のとおり費用を投じ修繕を実施いたしました。

<p>吾妻耶山第1クワッドリフト</p> 	<p>索受装置分解整備整 17号、12号、13号、20号支柱 油圧緊張装置分解整備 折返押送装置分解整備 原動・折返制御シーケンサー更新 シーズン中、2回の索道メーカー点検を実施</p>
<p>吾妻耶山第2ペアリフト</p>	<p>握索装置非破壊検査実施 ※磁粉探傷試験 風速計分解整備</p>
<p>吾妻耶山第3クワッドリフト</p> 	<p>ワイヤーロープ更新 折返拡索輪分解整備 制動油圧ユニット更新 索受装置分解整備 7号、15号支柱 シーズン中、2回の索道メーカー点検を実施</p>
<p>吾妻耶山第4ペアリフト</p>	<p>搬器ウォームシート交換</p>

- 平成27年度の設備投資計画（整備計画）

吾妻耶山第1クワッドリフト

- ・索条交換（樹脂芯へ変更予定）
- ・山麓押送軸組整備
- ・握索機分解整備（非破壊検査）

吾妻耶山第3クワッドリフト

- ・山麓拡索輪分解整備

- 平成27年度の安全管理体制の構築・改善計画（運輸安全マネジメント）

平成26年度の事故を受けて、安全マネジメント（当社管理体制）の見直し等行って参ります。

・「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン～輸送の安全性の更なる向上に向けて～」セミナーへの参加

国土交通省 大臣官房 運輸安全管理官室主催 支配人、索道課長

・運輸安全マネジメント研修会

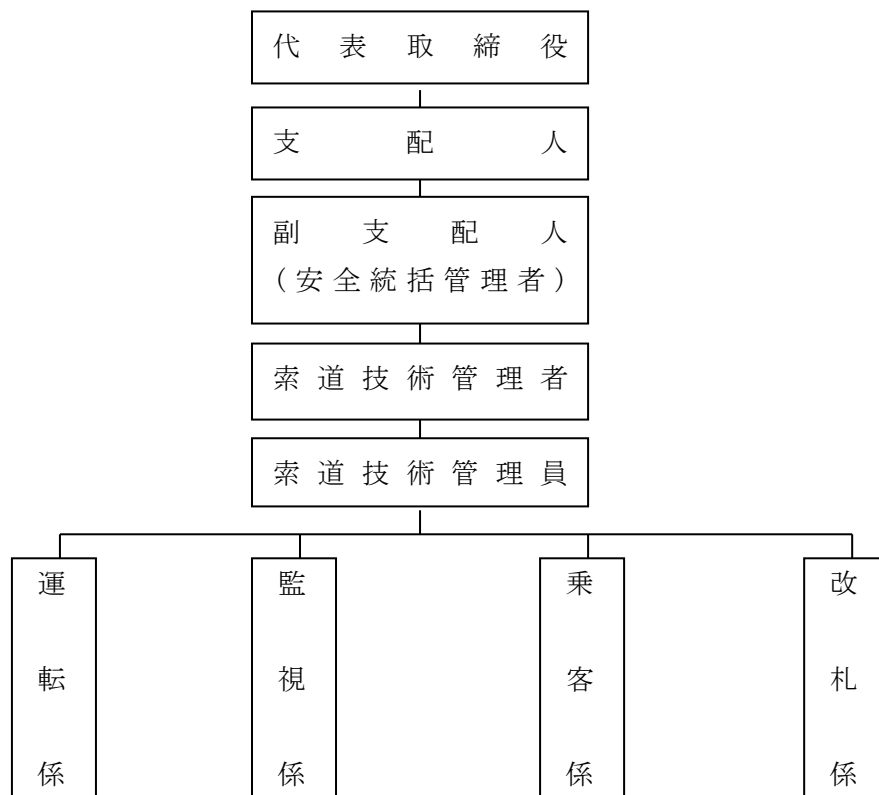
関東鋼索交通協会主催研修会への参加 支配人

・社内における安全管理体制の見直し、改善等の会議の実施

安全統括管理者（支配人）

4. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また、各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリ・ハットや反省、気付き、改善提案等を索道技術管理員へ報告し、日々の業務に反映させております。



代表取締役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
支配人	事業全体の業務を統括する。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の業務を補助する。

5. 利用者の皆様の連携とお願い

(ア) お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。
お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され安全なサービスが提供できるように役立てます。

(イ) リフト乗車時の注意事項

- ・お客様の行動は、リフトご利用のお客様全員の安全に関わっています。
- ・リフトのご利用には、責任と義務が伴います。
- ・次のことを守ってください。

<乗車時>

- ① リフトの乗り降りに不安のあるお客様は、係員まで申し出てください。
- ② スノーボードご利用の場合リーシュコード(流れ止め)を必ず着用して下さい。
- ③ 「のりば」でスキー・スノーボードを正しく前に向けてお待ちください。
- ④ 第2ペアリフトでは、乗車後すぐに足を上げてください。(すいせん園の乗車時)
- ⑤ 乗れなかったら、すぐにリフトから離れてください。
- ⑥ ストック等が隣のお客様に迷惑にならないようご注意ください。
- ⑦ リュックサック等荷物、衣類等の紐にご注意ください。

<乗車中>

- ① セーフティーバーを下ろし、深く腰をかけてください。(第1・第2・第3リフト)
- ② 乗っている時は、次のことを行わないでください。
 - ア、イスを揺らすこと。
 - イ、イスから飛び降りること。
 - ウ、イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。
 - エ、ストック等で柱や雪面などにさわること。
- ③ リフトが止まっても飛び降りないでください。
- ④ リフト乗車中は禁煙となります。
- ⑤ リフト乗車中は、身の廻り品や物品の落下にご注意ください。

<降車時>

- ① 「おりば」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進み、次のお客様の迷惑にならないよう注意ください。
- ② 降りられない場合、そのままイスに座っててください。

<その他>

ソリ等固定具の付いていない用具でのご乗車は出来ません。
係員の指示に従ってください。
今年度以前の安全報告書を希望の場合は、お問合せ下さい。

ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒379-1614 群馬県利根郡みなかみ町寺間479-139

群馬スノーアライアンス株式会社

T E L 0278-72-6688 F A X 0278-72-6660 E-mail info@norn.co.jp